

別記様式（第四号関係）記載例（内容はご自身の経営に合わせて下さい。）

農業経営改善計画認定（変更）申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

板倉町長 栗原 実 様

申請者住所 板倉町大字板倉〇〇〇〇

電話 〇〇-〇〇〇〇

氏名<名称・代表者> 板倉 太郎 (印)

S〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳)

<法人設立年月日 年 月 日設立>

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農 業 経 営 改 善 計 画					
①目標とする営農類型		水稲+施設野菜（キュウリ）			
②経営改善の方向の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲作部門で大型機械を導入し、規模拡大及び労働力の省力化を図りたい。 ・ ハウス（施設）の増改築する時に、最新資材の被覆材（10年張り）を取り入れ、労働力の省力化を図りたい。 			

		（年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標）			
			現状		目標（5年後）
	年間農業所得	4,500 千円	8,000 千円		
	年間労働時間	2,400 時間	2,000 時間		
③農経営の規模の拡大に関する目標	作目・部門名	現状		目標（5年後）	
		作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
	水稲	150 a	6,750 kg ※ 現状は10a あたり450kg	400 a	19,200 kg ※ 目標は10a あたり480kg
	施設野菜 キュウリ 春 （促成キュウリ）	25 a	37,500 kg ※ 10aあたり 15,000kg	30 a	48,000 kg ※ 10aあたり 16,000kg
	秋 （抑制キュウリ）	25 a	12,500 kg ※ 10aあたり 5,000kg	30 a	16,500 kg ※ 10aあたり 5,500kg
	経営面積合計	175 a		430 a	

③ 農業経営規模の拡大に関する目標	区分	地目	所在地 (市町村名)	現状		目標 (5年後)	
	所有地	田 畑	板倉町 //	150 a		150 a	
				25 a		30 a	
	借入地	田	板倉町	0 a		250 a	
	特定作業受託	作目	作業	現状		目標 (5年後)	
				作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
	作業受託	作目	作業	現状		目標 (5年後)	
		水 稲	耕起・代かき	200 a		200 a	
			田植え	100 a		200 a	
収穫			300 a		500 a		
単純計		600 a		900 a			
換算後		200 a		300 a			
			(単純計÷工程数)		(単純計÷工程数)		
農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業	事業名	内容	現状		目標 (5年後)		
	生産した農	産物					
④ 生産方式の合理化に関する目標	機械・施設	機械・施設名	型式、性能、規模等及びその台数				
			現状		目標 (5年後)		
		トラクター	25 PS	1台	25 PS	1台	
		田植機	3条	1台	50 PS	1台	
		コンバイン	4条	1台	4条	1台	
		トラック	3条	1台	4条 (ゲリタノ)	1台	
		トラック	1 t	1台	4条 (ゲリタノ)	1台	
		農舎	1 t. 0.5 t	各1台	1 t. 0.5 t	各1台	
		ハウス	50 m ²	1棟	120 m ²	1棟	
			1,000 m ²	1棟	1,500 m ²	1棟	
			1,500 m ²	1棟	1,500 m ²	1棟	
					※ 規模に見合う機械装備を整える。		

農利用用地条の件	現状		目標（5年後）
	10～20a区画が中心		基盤整備済みの30a区画の圃場を中心に借り入れる。また、所有地の隣地を借り、集積を図る。
作合目理・化部の門方別向	作目・部門名	現状	目標（5年後）
	水 稲	現状の機械では能力が悪く時間がかかる。	大型機械を導入し、能力アップを図り労働省力化をする
	キュウリ	2年に1回ビニールの張り替えを行っている。	被覆材を10年張りにし、労力を軽減する。
	キュウリ	品質のバラツキがある。	品種、農薬など新技術を研究し品質の向上を図る。

	現状	目標（5年後）
⑤経営管理の合理化に関する目標	白色申告を現在行っている。	青色申告をし、農業経営を把握したい。
⑥農業従事の態様等の改善に関する目標	特に休日を決めていないので、生活にメリハリがない。	休日制の導入（週1日程度）
⑦ 目標を達成するためにとるべき措置	経営改善の目標	措置
	<p>規模の拡大</p> <p>生産方式の合理化</p> <p>経営管理の合理化</p> <p>農業従事の態様等の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業を活用し農地の集積を図る。 ・施肥方式を研究し、コシヒカリ等の食味の良い品種を拡大する。 ・キュウリの品質の良い品種を選び、A級品の多収を図る。 ・農協で決められた農薬、肥料を使い、品質の向上を目指す。 ・農協主催の青色申告会に出て、農業経営を収支から把握する。 ・臨時雇用を活用し、休日制を導入する。 <p>※ ③～⑥までの目標等に対する措置を記載。</p>

	氏名 (法人経営にあっては 役員の氏名)	年齢	代表者との続柄(法人 経営にあっては役 職)	現状		見通し	
				担当業務	年間農業従事 日数(日)	担当業務	年間農業従事 日数(日)
(参考) 経営の 構成	板倉太郎	55	(代表者) 本人	農業経営全般	300	農業経営全般	250
	花子	53	妻	農業経営全般	200	農業経営全般	250
	大五郎	77	父	農業経営全般	250	農業経営全般	100
	ミツ	73	母	農業経営全般	200	農業経営全般	100
				※規模に見 合う労働配分			
雇 用 者	常時雇(年間)	実人数	現状	0人	見通し	0人	
	臨時雇(年間)	実人数	現状	0人	見通し	5人	
		延べ人数	現状	0人	見通し	150人	

(参考)	認定市町村名	認定年月日	備考
他市町村の 認定状況			